超音波メッシュ式ネブライザ

プチネブ

LM－U01

取扱説明書

プチネブ　LM－U01
医療機器届出番号　27B3X00227000001

担当医師の連絡先

病　院　名

担当医師名

電 話 番 号

ここに担当医師の連絡先を書き、緊急時にお役立てください。

簡単操作ガイド

ご購入後の確認とお願い

安全上のご注意	1
効果的な吸入療法	3
商品の主な特長	4
各部の名称と機能	6

吸入の準備

電源の準備	7-8
脱着の仕方 (メッシュユニット) (薬液ボトル)	9-10
はじめてご使用になる前に	11

吸入の方法

薬液の入れ方	12
吸入のための操作方法	13
吸入時の注意とお願い	14

吸入後のお手入れ

1日に数回吸入する場合	15
洗浄・消毒・乾燥	16

困ったときに

困ったときのために	17
部品の材質・保管方法	18
別売品リスト	19
仕様	20
保証書／保証規定	裏表紙

■本器は医療用です。必ず医師の指導に従って正しくご使用ください。
■本器を本来の使用目的以外に使用しないでください。
■使用する薬剤の種類や量、吸入回数、間隔については担当医師の指示をお守りください。
■吸入治療中に「おかしいな」と思ったら、そのまま吸入を続けず、中断して担当医師にご相談ください。

■この度は「プチネブ LM－U01」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
■この取扱説明書を最後までよくお読みいただき、本器の使用方法、使用上の注意事項を十分にご理解の上、正しくご使用くださるようお願いいたします。
■本書は保証書を兼ねています。紛失しないように保管してください。
■本書に記載しているイラストはイメージ図です。

安全上のご注意 特に注意していただきたいこと

お使いになる前によくお読みください

警告サイン	内　容
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重症を負う切迫した危険状況がある内容が記載されています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容が記載されています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電するおそれのある内容が記載されています。
	記号は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、表の中や近くに文章や絵で示します。
	記号は強制（必ず守ること）を示します。 具体的な強制内容は、表の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“一般的な強制”を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

警告

- 本器は医用電気機器であるため、必ず医師等の指導により使用すること。
  [誤って使用すると症状が悪化するおそれがある。]
- 使用薬剤、用法、用量は必ず医師の指示に従うこと。
  [誤って使用すると症状が悪化するおそれがある。]
- 本器を本来の使用目的（適用）以外に使用しないこと。
  [適用以外に使用すると思わぬ事態をまねくおそれがある。]
- 乳幼児や小児が使用する場合、使用状況を適切に管理すること。
  [薬剤の効果確認が必要であるため、また小さな部品を飲み込むおそれがあるため。異常があった場合は、ただちに医師に相談すること。]

注意

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意
   - ●緊急使用時のため、電池は新しいものを常に予備に携帯するか、専用ACアダプタを携帯している場合は、近くのAC100V（通常の電灯線）のコンセントを確認しておくこと。
   - ●感染防止のため、ネブライザ部、キャップ及び薬液ボトルは、使用前後及び薬液の変更時に必ず洗浄・消毒・乾燥すること。
   - ●メッシュに指を入れないよう注意すること。
     [けがをしたり、故障して吸入できなくなるおそれがある。]

ご購入後の確認とお願い
安全上のご注意

注意

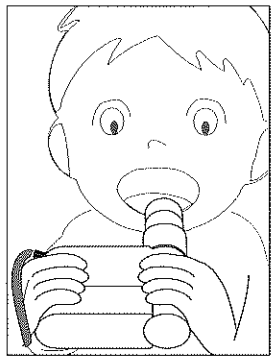
- ●分解したり、修理・改造をしないこと。
  [発火したり、感電するおそれがある。]
- ●煙が出ている、変な音やにおいがする等の異常状態のまま使用しないこと。
  [発火したり、感電するおそれがある。]
- ●専用ACアダプタを傷つけないこと。
  [発火したり、感電するおそれがある。]
- ●専用ACアダプタやコンセントにほこり等を付着させないこと。
  [発火するおそれがある。]
- ●本器内に異物を入れないこと。
  [発火したり、感電するおそれがある。]
- ●火の近くにおかないこと。
  [ストーブ、ヒーター等の高温を発する物のそばにおくと、本器が燃えたり、熔けたり、火災のおそれがある。]

2. その他の注意
   - ●本体は防滴形ではない。
     [水や薬液等を本体に入れると、故障の原因となったり、感電するおそれがある。]
   - ●本器は以下の環境の範囲内で使用すること。この範囲以外での性能については保証をしていないため十分注意すること。
     周囲温度：10～40℃、相対湿度：30～75%（結露状態を除く）
     気圧：700～1060hPa（ヘクトパスカル）
   - ●接続プラグやアダプタ本体を抜くときは電源コードを引っぱらないこと。
     [コードが傷ついて、発火、感電の原因になることがある。]
   - ●電源コードを束ねたまま使用しないこと。
     [発熱等により発火するおそれがある。]
   - ●ぬれた手で接続プラグやアダプタ本体を触らないこと。
     [感電するおそれがある。]
   - ●薬液は5mLを超えないように注意すること。上から目盛りは約4.5mL・3mL・2mLの容量になっている。薬液を5mL以上吸入する場合は、数回に分けて吸入すること。
   - ●本体を水洗いしないこと。
     [水が本体に流入し、故障の原因になる。]
   - ●使用後はメッシュユニットを外して十分に洗浄すること。
     [メッシュがつまるおそれがある。]
   - ●メッシュがつまった場合は、無理につまりを取り除こうとせず、温湯又は水で十分洗浄し、温湯消毒すること。
     [メッシュの破損やけがの原因になる。]
   - ●乳幼児や小児の手の届くところに保管しないこと。
     [メッシュ等、小さな部品を飲み込むおそれがある。また本体等の破損やけがの原因になる。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談すること。]
   - ●本器を不安定な場所や高いところに保管しないこと。
     [転倒や落下によりけがをしたり、故障して吸入できなくなるおそれがある。]
   - ●本器をベンジンやシンナー等でふかないこと。
     [変色したり、変形することがある。]
   - ●消毒剤を使用する場合は、使用する消毒剤の添付文書、注意事項に従うこと。

ご家庭での効果的な吸入療法のために

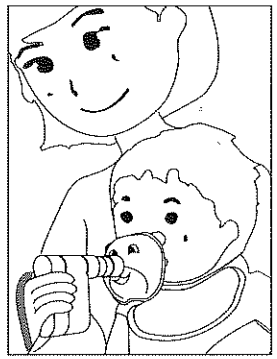
1. 使用する薬剤の種類や量、吸入回数、間隔については、担当医師の指示をお守りください。
2. 吸入前には・・・軽くてもぜんそく発作の出ている場合には、水分をとり、ゆっくりと腹式呼吸を行い、排痰に努めた後に吸入しましょう。
   吸入中には・・・咳や痰が出てきたら吸入をやめ、排痰をして、呼吸を整えてから吸入を再開しましょう。
   吸入療法中に「おかしいな」と思ったら、そのまま吸入を続けず、中断して担当医師に相談しましょう。
3. 正しい姿勢で吸入しましょう。
4. ネブライザ部は洗浄・消毒・乾燥をし、清潔に保つようにしてください。
5. 症状が改善し、病状が軽くなっても、担当医師の指示を守り、吸入療法を継続してください。
6. 吸入の方法

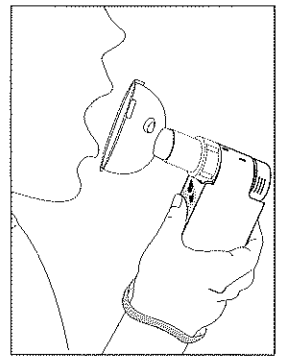
マウスピース使用時



お子様に優しいデザインです。

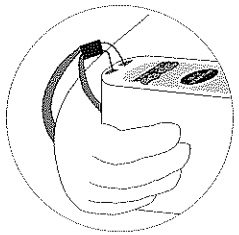
マ ス ク 使 用 時





片手でも安心して吸入できるコンパクトサイズです。

ストラップに手を入れて両手で持って安心して吸入できます。

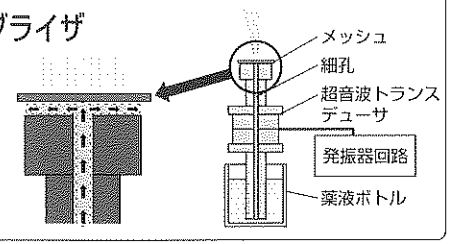


商品の主な特長

1 ポンプを搭載した超音波メッシュ式ネブライザ

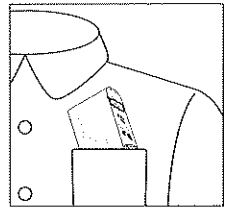
ポンプ機能で常時、液の供給可能。

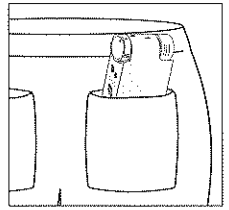
- ●安定噴霧。
- ●目詰まりしにくい。
  自浄作用が期待できます。



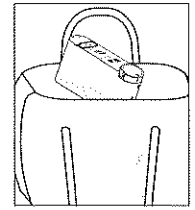
2 手にフィットするポケットサイズを採用

どこにでも手軽に持ち運びが可能なデザインです。





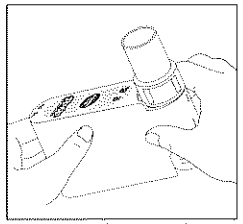
胸やズボンのポケットにも入るスリムなデザイン



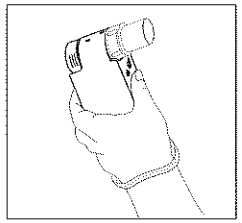
収納しやすいデザイン

3 いろいろな持ち方で吸入可能

ポンプ機能とボディーデザインにより、自由な持ち方を選ぶことができます。



お子様やお年寄りの方には
両手でしっかり持てます。

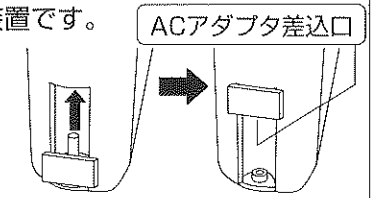


右利き左利きの方にも
持ちやすいデザインです。

4 省エネと誤作動防止を目的にした電源遮断プラグを搭載

電源遮断プラグは省エネと誤作動防止の装置です。

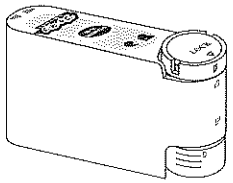
1. 省エネ
   電池の消耗を抑える機能を備えています。
2. 誤作動防止
   ACアダプタ差込口に電源遮断プラグをさすと誤作動防止機能が働きます。



上にスライドさせる

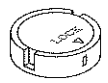
商品の内容　ご確認ください

箱の中には次のものが入っています。万一、不足のものがありましたら、ご購入店又はフジ・レスピロニクス（株）お客様サービスセンターまでご連絡ください。



① 本体

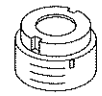
本体に取り付け済み



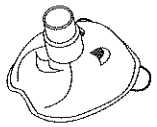
キャップ

固定リング

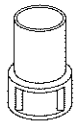
メッシュユニット



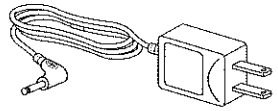
薬液ボトル



②マスク



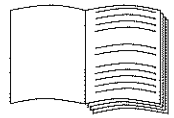
③マウスピース



④専用ACアダプタ

⑤ソフトケース

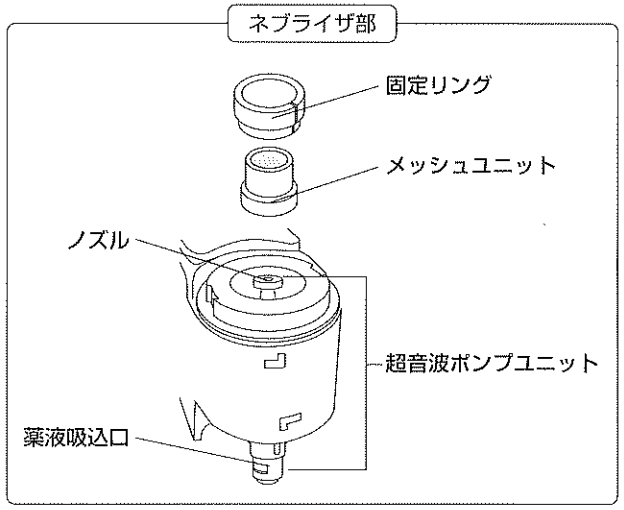
⑥ストラップ



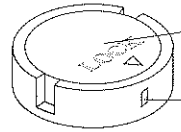
⑦取扱説明書（保証書付）

⑧添付文書

ネブライザ部の説明

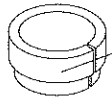


各部の名称と機能



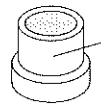
キャップ
メッシュユニットを保護するためのキャップです。

キャップ合マーク
キャップをするときの目安です。

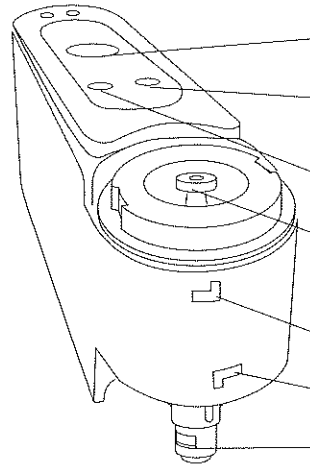


固定リング
メッシュユニットを固定する役目があります。

メッシュユニット（噴霧口）
合金のメッシュが収納されています。
※超微細な穴から噴霧される精密な部品です。
大切に取り扱ってください。



注意
噴霧口に指を入れない
メッシュ部分はさわらない



スイッチ　POWER 入/切　を押して、電源を入れたり切ったりします。

電池交換表示灯
電池の容量が少なくなると、だいだい色のランプが点灯します。

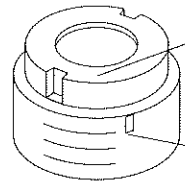
電源表示灯　電源が入ると、みどり色のランプが点灯します。

超音波ポンプユニット
超音波ポンプが振動し、薬液を薬液ボトルから吸い上げ、メッシュの穴から噴霧させます。

本体合マーク　上　キャップをするときの目安です。

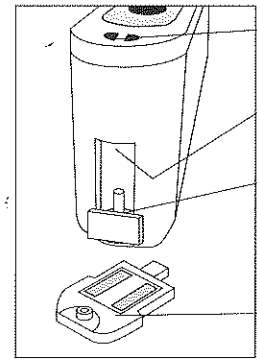
本体合マーク　下　薬液ボトルを取り付けるときの目安です。

薬液吸込口　薬液を薬液ボトルから吸い上げます。



薬液ボトル　薬液を入れるボトルです。
※最大約5mLを入れることができます。
約4.5mL・3mL・2mL の目盛りがついています。
※薬液を携帯する場合は、別売品の薬液ボトルセットをお勧めします。

薬液ボトル合マーク　本体に取り付けるときの目安です。



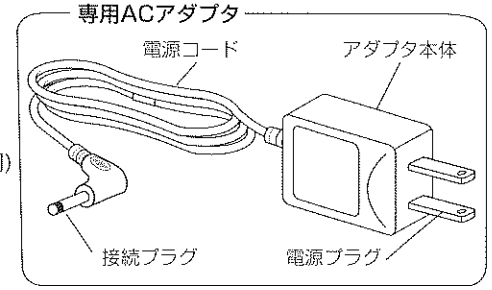
ストラップ取付口

ACアダプタ差込口

電源遮断プラグ
（省エネと誤作動防止用）

電池カバー

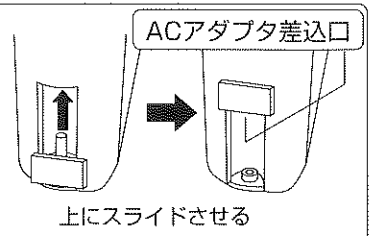
専用ACアダプタ



電源の準備　電池を使用する場合

① 電源遮断プラグを上げる

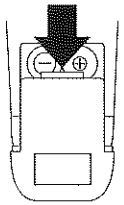
電源遮断プラグを上にスライドさせ、ACアダプタ差込口にさし、省エネと誤作動防止の状態にする。



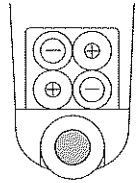
② 電池を入れる

※電池は単4形を購入し、ご使用ください。

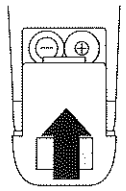
1. 電池カバーを外す
電池カバーを手前にスライドさせ、外してください。



2. 電池を入れる
電池を表示マーク(⊕⊖)に従って正しく入れてください。



3. 電池カバーをする
電池カバーを溝に合わせてスライドさせ、しっかり閉めてください。



電池の寿命と交換について

■アルカリ電池をご使用のとき

約6日間吸入できます。(1日30分使用時)

電池交換の時期

スイッチを押すとみどり色のランプが点灯します。
みどり色のランプが点灯しない場合は、電池を交換してください。

だいだい色のランプは、まもなく電池が切れる警告です。交換する電池を準備しておいてください。

※マンガン電池も使用できますが、電池の寿命が極端に短くなります。

■ニッケル水素電池をご使用のとき

約5日間吸入できます。
(満充電状態、1日30分使用時)

電池交換の時期

みどり色のランプが点灯しない場合は、電池切れです。
すみやかに4本を同時に新しい充電池と交換してください。

※専用ACアダプタには充電機能はありません。充電するときは、ご使用の電池にあった市販の充電器をご使用ください。

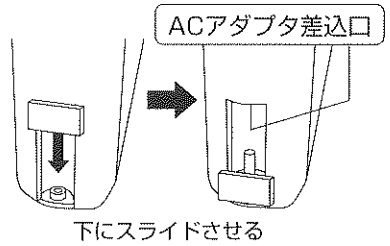
お願い

- 使用済みの電池は、すぐに新しいものと交換してください。
- 長期間(3ヵ月以上)使用しないときは、電池を取り出しておいてください。電池を入れたまま長期間使用せず放置しておくと、電池から液が漏れ出し、本器が故障するおそれがあります。
- 指定以外の電池の使用及び古い電池と新しい電池や違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ⊕⊖を間違えないようにセットしてください。
- 電池の取り扱いに関しては、電池に記載されている注意事項をよくお読みください。
- 使用済みの電池は、お住まいの市区町村の指導に従って処分してください。

電源の準備　専用ACアダプタを使用する場合

① 電源遮断プラグを下げる

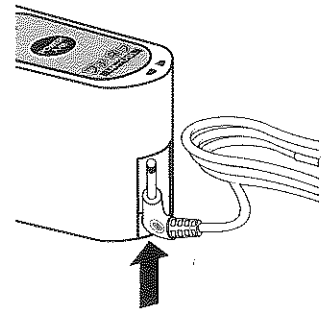
電源遮断プラグを下にスライドさせ、電池カバー内側の突起にさし、固定してください。



② 電源の接続

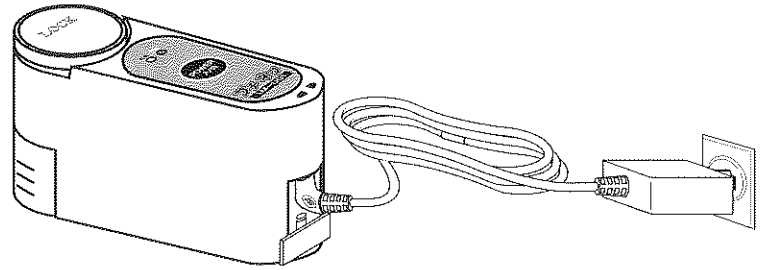
- 接続プラグをACアダプタ差込口にさしてください。
- 電源プラグをコンセットにさしてください。

※AC100Vをご使用ください。



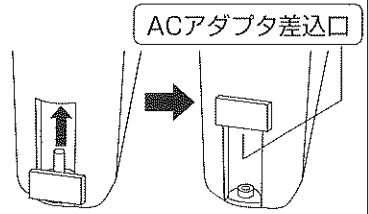
③ 電源の確認

電源プラグ、接続プラグが接続されていることを確認してください。



④ 使用後の確認

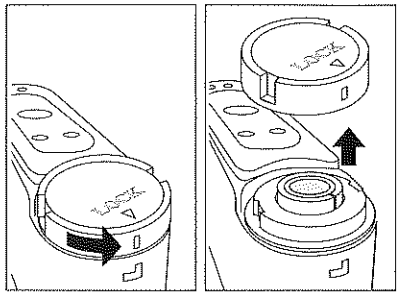
- ご使用後は必ず接続プラグを本器から外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 専用ACアダプタを使わない時は、電源遮断プラグを上にスライドさせ、ACアダプタ差込口にさしてください。
省エネと誤作動防止の状態にします。



メッシュユニットの脱着の仕方

手洗いをしっかりし、必ず清潔な手で行いましょう

① 電源が入っていないことを確認する



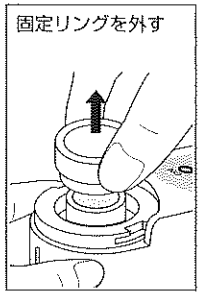
② キャップを外す

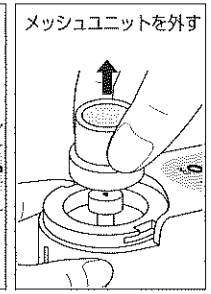
キャップを左に回して本体から外します。

③ 固定リングとメッシュユニットを外す

1. 固定リングをつまみ、ゆっくり持ち上げると簡単に外れます。
2. 次に、メッシュユニットを外します。

※外れないときは、無理に外さないでください。故障の原因になります。



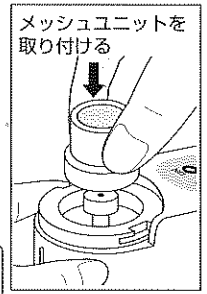


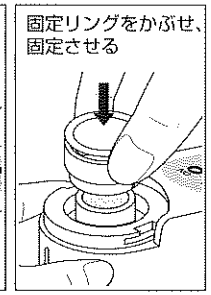
④ 固定リングとメッシュユニットを取り付ける

固定リングとメッシュユニットを取り付けます。

1. メッシュユニットを超音波ポンプのノズルにかぶせます。
2. 固定リングをつまみ、メッシュユニットにかぶせます。
3. 固定リングを軽く押さえ、固定させます。

※入らないときは、無理に入れないでください。故障の原因になります。

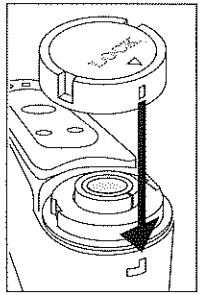


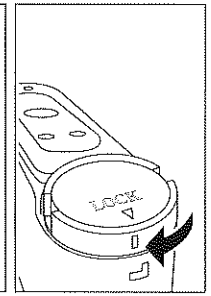


⑤ キャップを取り付ける

本体合マークにキャップ合マークを合わせるようにキャップを乗せ、右に回して本体にしっかり取り付けてください。

※使用する場合は、必ず洗浄・消毒を行ってからご使用ください。

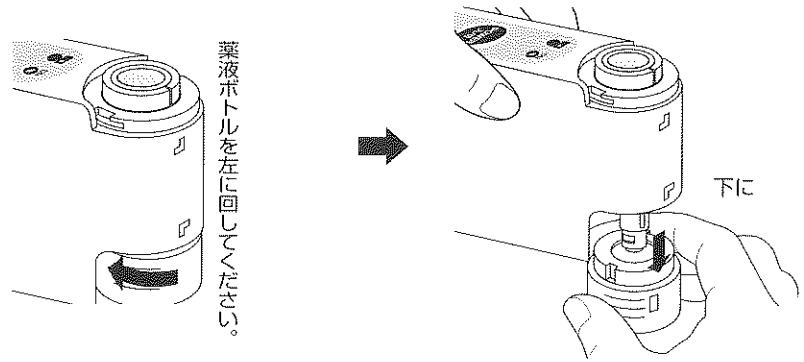




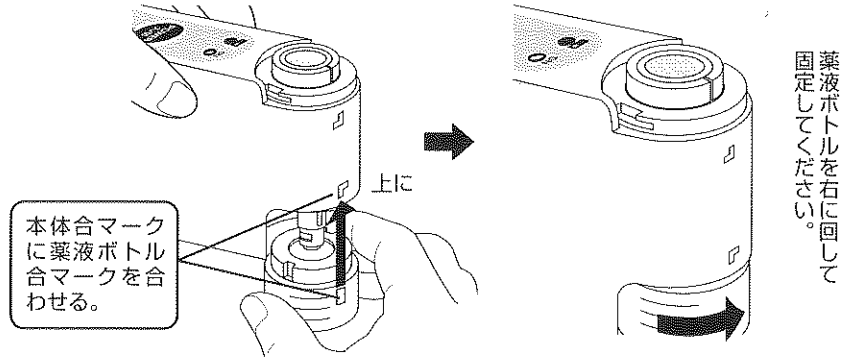
薬液ボトルの脱着の仕方

手洗いをしっかりし、必ず清潔な手で行いましょう

① 薬液ボトルを本体から外す



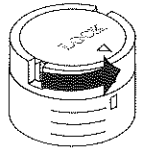
② 薬液ボトルを本体に戻す



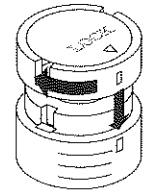
薬液ボトルとキャップの脱着の仕方

●薬液ボトルは携帯に便利なボトルです。
薬液ボトルはキャップでフタをして薬液を携帯することができます。

※薬液を携帯する場合は、別売品の薬液ボトルセットをお勧めします。
（ページ19参照）



キャップを左に回してキャップを外してください。



薬液ボトル合マークとキャップ合マークを合わせ、右に回してキャップを固定してください。

はじめてご使用になる前に

手洗いをしっかりし、必ず清潔な手で行いましょう

① ネブライザ部の洗浄

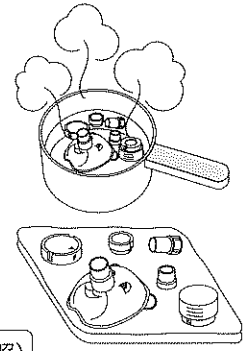
●薬液ボトルを本体から外してよく水洗いし、ぬるま湯を入れて噴霧してください。

薬液ボトルの外し方・・・・・ページ10参照

② 各部品の洗浄・消毒・乾燥

●キャップ、固定リング、メッシュユニット、薬液ボトルを本体から外し、マウスピース、マスクとともに洗浄・消毒(温湯)・乾燥してください。(ページ16参照)

メッシュユニットの外し方・・ページ9参照



※上記部品は全て煮沸も可能です。(材質：ページ18参照)
やけどをしないように注意してください。

③ 部品の確認

部品は一つでもないと薬液を吸入することができません。

④ 組み立て

電源が入っていない状態で、組み立てください。

⑤ 本体へのメッシュユニットと固定リングの取り付け

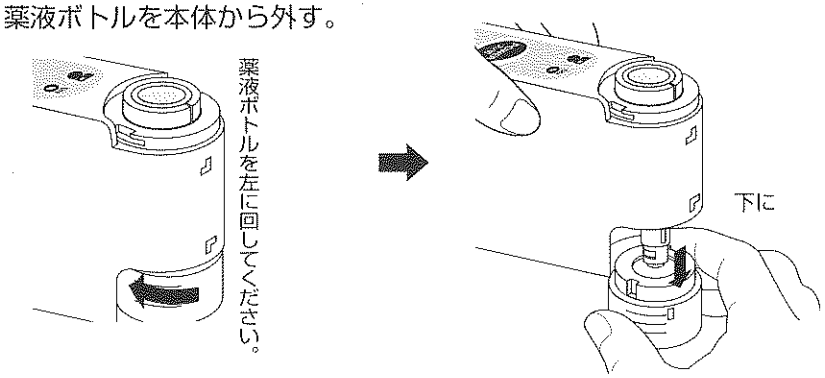
(ページ9参照)

吸入の方法　薬液の入れ方

手洗いをしっかりし、必ず清潔な手で行いましょう

① 薬液を薬液ボトルに入れる

薬液ボトルを本体から外す。

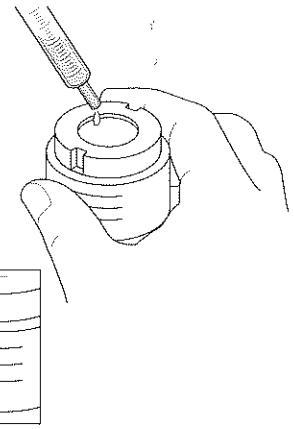


② 薬液を薬液ボトルに入れる

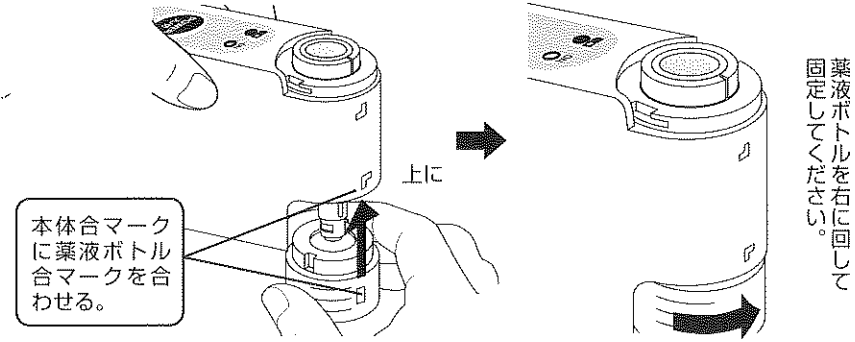
図のように薬液を入れます。

※薬液は5mLを超えないように注意してください。

メモリの見方
上から約4.5mL・3mL・2mLの容量になっています。
薬液を5mL以上吸入する場合は、数回に分けて吸入してください。



③ 薬液ボトルを本体に戻す

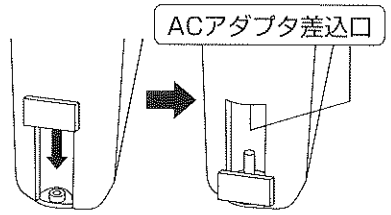


吸入のための操作方法

手洗いをしっかりし、必ず清潔な手で行いましょう

① 電源遮断プラグを外す

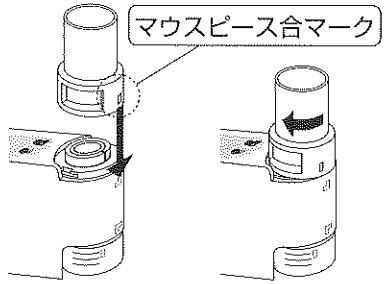
電源遮断プラグを下にスライドさせ、電池カバー内側の突起にさし、固定してください。



下にスライドさせる

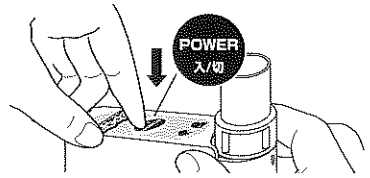
② 本体にマウスピースを取り付ける

右図のようにマウスピース合マークを本体合マークに合わせるように乗せ、右に回して本体にしっかり取り付けてください。



③ 噴霧をする

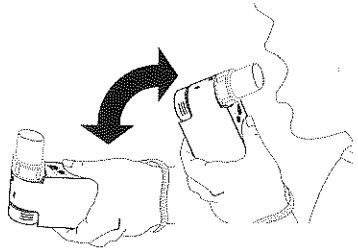
右図のようにスイッチを押すと噴霧します。



- ●噴霧中は、みどり色のランプが点灯します。
- ●薬液が出なくなるまで吸入してください。
- ●薬液残量は薬液や噴霧角度により異なります。残った薬液は、図のように水平に戻して、再度吸入してください。

④ 噴霧を停止する

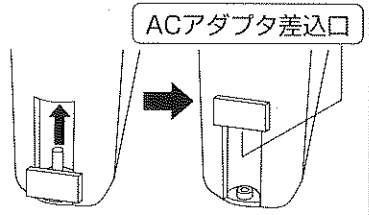
完全に噴霧しなくなることを確認し、右図のようにスイッチを押して切ってください。



- ●噴霧を停止すると、みどり色のランプが消灯します。

⑤ 電源遮断プラグを戻す

電源遮断プラグを上にスライドさせ、ACアダプタ差込口にさし、省エネと誤作動防止の状態にします。（ページ8参照）



上にスライドさせる

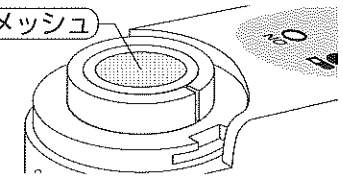
吸入時の注意とお願い

吸入時のお願い！

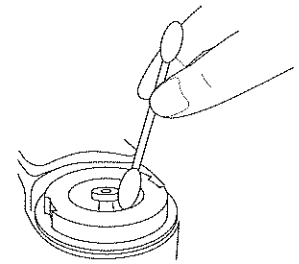
- ●手を清潔にしてから組み立て、吸入してください。
- ●本体を手に持ち、正しい姿勢で吸入してください。
- ●落下防止のため、ストラップに手を通して使用することをお勧めします。
- ●薬液吸込口が薬液に浸るようにしてください。薬液吸込口が薬液に浸っていないときは、噴霧しないことがあります。
- ●メッシュの上に薬液やよだれが溜まると噴霧が停止します。いったんスイッチを切り、マスクとマウスピースを取り外した後、メッシュユニットを洗浄・消毒・乾燥させ、再装着してください。

メッシュを綿棒、ピン等で突いたりしないでください。

破損し、使用できなくなります。



- ●薬液溶解剤等、界面活性剤入りの薬液では、噴霧量が不安定になる場合があります。
- ●メッシュユニット装着部に液が残っている場合は、清潔な綿棒等でふきとってください。



1日に数回吸入する場合

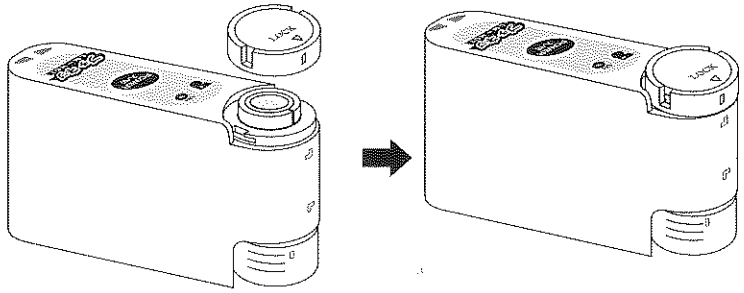
① メッシュの目詰まり防止

薬液ボトルを本体から外し、水を入れて1～2分噴霧してください。

② 使用後の保管

●薬液ボトルに残った水は捨て、汚染されないように本体に装着してください。
●本体にキャップをしてください。

※キャップをしっかり閉めてください。



●次回、吸入する薬液が異なる場合

前回の薬液と次の薬液が混ざらないように、洗浄・消毒・乾燥してからご使用ください。
（ページ16参照）

注意

●乳幼児や小児の手の届くところに保管しないこと。
[メッシュ等、小さな部品を飲み込むおそれがある。また本体等の破損やけがの原因になる。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談すること。]

洗浄・消毒・乾燥の方法

① ネブライザ部の洗浄

●薬液ボトルを本体から外してよく水洗いし、ぬるま湯を入れて噴霧してください。

② 固定リング、メッシュユニット及び薬液ボトルの取り外し

（ページ9・10参照）

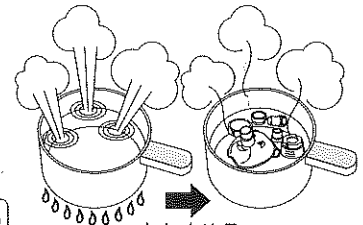
●メッシュユニット装着部に液が残っている場合は、清潔な綿棒等でふきとってください。（ページ14参照）

③ 1週間に1回の部品の洗浄・消毒

少なくとも1週間に1回は温湯で洗浄・消毒を行ってください。
また噴霧量や汚染状態により適宜同様に洗浄・消毒を行ってください。

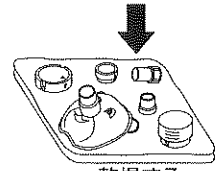
1. キャップ、固定リング、メッシュユニット、薬液ボトル、マウスピース及びマスクを水洗いしてください。
2. 鍋などでわかしたお湯に水洗いした部品を入れて消毒してください。

※上記部品は全て煮沸も可能です。(材質:ページ18参照)
やけどをしないように注意してください。



④ 乾燥

清潔なタオル等の上で、自然乾燥してください。



⑤ 組立・保管

元通りに組み立てた後、ソフトケースに収納します。

●温湯消毒の際はやけどをしないように注意してください。
●温湯消毒した部品は、清潔なタオル等に取り出し、くるむ等して汚染されないよう吸入するまで清潔に保管してください。
●ご家庭での消毒は、温湯消毒をお勧めします。
●哺乳瓶の消毒等に用いるミルトン（次亜塩素酸ナトリウム）等、塩素系のものは、超音波ポンプユニットやメッシュユニット等、金属部品を錆びさせ易いですので、ご使用を避けてください。やむを得ず使用した場合は、消毒剤が残らないように、しっかり水洗して乾燥してください。
●吸入するまでに長期間経過し、汚染の心配がある場合は、再度洗浄・消毒・乾燥してからご使用ください。

困ったときのために

ご使用中に異常が生じた場合には、まずスイッチを切って、次の点をお調べください。

	考えられる原因	処置の仕方
噴霧しない時・噴霧量が落ちた時	メッシュユニットがしっかり入っていない	メッシュユニットをしっかり入れなおしてください。
	メッシュが汚れたり目詰まりしている	メッシュユニットを温湯洗浄し、汚れを落としてください。 ※それでも回復しない場合は、新しいメッシュユニットと交換してください。
	メッシュが破損している	新しいメッシュユニットと交換してください。
	薬液ボトルに薬液が入っていない	薬液を入れてください。
	薬液が薬液吸込口に浸かっていない （薬液吸込口に薬液が触れていない）	薬液吸込口が薬液に浸っているか確認してください。 薬液吸込口が薬液に浸るように角度を調整してください。 浸かっていない場合は、水平に戻し、薬液が吸込口に浸かるのを確認してください。
	薬液ボトルが本体に正しく取り付けられていない	薬液ボトルを本器に正しく取り付けてください。 ページ10参照
	薬液の温度が低い	室温に戻してから使用してください。
	省エネ・誤作動防止の状態になっている	誤作動防止用の電源遮断プラグを外してください。 ページ8参照
	電池が切れかかっている、切れている だいだい色のランプが点灯､みどり色のランプが消灯している 電池の容量が減っている	正しく電池（充電池）を入れてください。 充電池（ニッケル水素電池）使用のときは、市販の充電器で充電するか、新しい充電池と交換してください。
	専用ACアダプタがコンセントや本体接続部に正しく接続されていない	専用ACアダプタを本体から取り外し、もう一度正しく取り付けください。
	ACアダプタの本体接続部の接点が汚れている	電池カバーの電極が汚れていると、正常に霧が出ません。汚れを拭き取ってください。
	電池が古い 持ち運び中に電源が入った状態のままにしていた	電池には電池寿命があります。購入前に、電池の有効期限などを確認して、購入してください。 新しい電池でも電池のメーカーによって､容量に差があります。電池を取り替えても電池の消耗が早い場合は、有名メーカー品のご使用をお勧めします。
	マンガン電池を使用している （寿命が極端に短くなります）	アルカリ電池でご使用ください。

※上記の処置でも正常に動作しない場合は、ご購入店又はフジ･レスピロニクス（株）お客様サービスセンターまでお問い合わせください。（保証書参照）
また故障等によりご使用になれない場合は、すぐに担当医師にご相談ください。

部品の材質について

洗浄・消毒・乾燥を行う部品

ご家庭での本器部品の洗浄・消毒は温湯消毒をお勧めします。

医療機関等で消毒・滅菌を行う場合は、各部品ごとに材質が異なりますので、以下の表を参照してください。

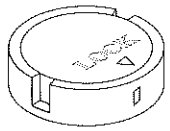
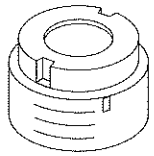
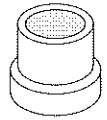
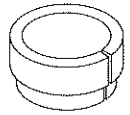
No.	名　　称	材　　質
1	超音波ポンプユニット	SUS304 、PP
2	メッシュユニット	パラジウム合金、SUS304、PP、シリコンゴム
3	キャップ	PP、シリコンゴム
4	固定リング	PP
5	薬液ボトル	PP、シリコンゴム
6	マウスピース	PP
7	マスク	SEBS

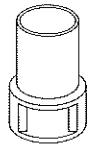
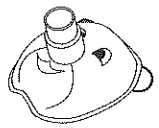
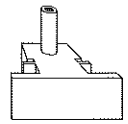
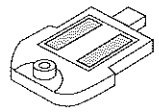
SUS304　：ステンレス
PP　　：ポリプロピレン
SEBS　　：スチレン系エラストマー樹脂

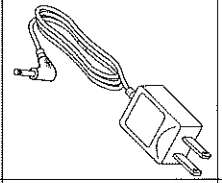
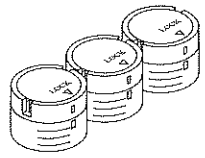
保管方法

- 水のかからない場所に保管すること。
- 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気等により悪影響の生ずるおそれのない場所に保管すること。
- 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）等、安定状態に注意すること。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

別売品リスト

No.	1	2	3	4
				
品名	キャップ	薬液ボトル	メッシュユニット	固定リング
入数	1個	1個	1個	1個

No.	5	6	7	8
				
品名	マウスピース	マスク	電源遮断プラグ	電池カバー
入数	1個	1個	1個	1個

No.	9	10		
				
品名	専用ACアダプタ	薬液ボトルセット		
入数	1個	3個		

仕様

仕　　様	
販　売　名	プチネブ
形　　式	LM－U01
電　　源	AC100V 50/60Hz（専用ACアダプタ使用）、DC6V（単4形アルカリ電池4本）又は　DC4.8V（単4形ニッケル水素電池4本）
消　費　電　力	約1.2W*
超音波発振周波数	約60kHz
噴　霧　能　力	0.2mL/分以上
噴霧粒子径	約5μm（MMD　自社測定値）
薬液ボトル容量	最大約5mL
外　形　寸　法	幅32mm×高さ62mm×奥行き113mm
質　　量	約125g（電池含まず）
電　池　寿　命	連続約3時間　1日約30分使用で約6日間（アルカリ電池使用時）
使用温湿度	周囲温度：10～40℃　相対湿度：30～75%
付　属　品	マスク、マウスピース、専用ACアダプタ、ソフトケース、ストラップ 取扱説明書（保証書付）、添付文書

＊室温、生理食塩水噴霧時（薬液の種類等により変化します）。
なお、低温になると噴霧能力が低下します。

※改良のため、仕様及び外観を予告なく変更することがあります。

メモ

ご注意
（1）本書の一部又は全部を無断転載することは固くお断りします。
（2）本書の内容については将来予告無しに変更することがあります。
（3）本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載漏れ等、お気づきの点がありましたら、ご連絡ください。

U01B09

保　証　書

＜保証規定＞
本器は厳密な検査に合格したものですが、通常の取扱いにおいてお買い上げ日から１年以内に製造上の責任による故障が本製品に生じた場合、保証書記載内容に基づき、無料修理いたします。

1．修理依頼は製品に、この保証書を添えて、お買い上げの販売店にお申しつけください。
2．つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
　1）指定外の電源を使用する等、本書の注意書と異なった使用及び誤った取扱いによる故障又は損傷
　2）保管上の不備によるもの及び利用者の責任に帰すと認められる故障又は落下等による損傷
　3）不適切な修理・改造・分解及び手入れ不足、その他の原因による故障又は損傷
　4）火災・地震・水害・公害及びその他天変地災や事故等による故障又は損傷
　5）保証書のご提示が無い場合及び必要事項（購入日・販売店等）の記入が無い場合
　6）分解掃除や各部点検・検査等を特にご依頼される場合
3．保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
4．本保証書は日本国内においてのみ有効です。

※ 本保証書は以上の保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品　名	プチネブ　LM−U01		製造番号	
購入日	年　月　日		保証期間	購入日より１年間
お客様	お名前			
	住　所			
	電　話			
販売店	販売店名			
	住　所			
	電　話			

販売元
フジ・レスピロニクス株式会社　〒101−0048　東京都千代田区神田司町 2−6

お客様サービスセンター　**0120-48-4159**（ヨイコキュウ）　平日 9:00〜17:00　土曜日 10:00〜17:00

製造販売元
株式会社 ロブメディカル　〒579−8053　大阪府東大阪市四条町 12−8